

★学問と開拓者精神を追求し続けた「小樽商科大学」の歴史

緑丘五十年史

●復刻版概要——B5判・上製本・286頁／原本Ⅱ昭和36年刊

●定 価——本体価格9,500円＋税

- 目 次——序文
- 第一部 学園の歩み
 - 第一章 渡辺校長時代
 - 一 創立まで
 - 二 創立のころ
 - 三 学園の生活
 - 四 学園の発展
 - 第二章 伴校長時代
 - 一 学園のルネサンス
 - 二 自由主義の風潮
 - 三 昭和初期の学園生活
 - 第三章 若米地校長時代
 - 一 学園の新しい発展
 - 二 学園の戦時体制
 - 三 学生生活の「新体制」
 - 第四章 大野学長時代
 - 一 大学昇格の運動
 - 二 大学の開学
 - 三 大学の発展
 - 第五章 加茂学長時代
 - 一 新しい飛躍のために
 - 二 創立五十周年を迎えて
 - 第二部 緑丘の回想
 - 附録

●復刻の辞——小樽商科大学は、昭和24（49）年学校設置法により新制大学として発足し今日に至っているが、その前身校・小樽高等商業学校は明治44（11）年全国の官立商業学校の第五番目として開校され、小樽経済専門学校を経て、本年創立90年を迎えるに至った。

この間、道内はもちろん、全国に有望な人材を排出し続け、特に経済界に時代をリードする先輩の多いことは有名である。また、文学の分野でも、小林多喜二、伊藤整らの活躍は、文学史・社会運動史に残るものである。

本書は、大学新聞『緑丘』の復刻刊行に続き、今回の『緑丘五十年史』とあわせ、近現代史研究の貴重な資料となるであろう。



●弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください

●発行所

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘1-2-12
 TEL 03-3812-4433
 FAX 03-3812-4464

注文カード		帖合・貴店名	
冊数	冊	発行所	不 二 出 版
摘要	書名	著者名	緑丘五十年史編集委員会
	ISBN4-8350-0426-4 C0000 ¥6500E		
定價＝本体6,500円＋税		年 月 日注文	様
住所氏名			

第一章 渡辺校長時代



開校当時の校舎と渡辺校長

一 創立まで

明治後期の産業教育 小樽商科大学の前身、小樽高等商業学校は明治四十三年三月二十七日、勅令第六十六号によって設立をさだめられ、翌四十四年四月開校した。

明治維新以来、先進諸国のあとを追って国力の充実と産業の発展をめざしてすすみつつあったわが国は、教育の面においても明治五年の学制制定をはじめとして、同十二年の教育令、十九年の学校令など一連の法令によって国民教育制度の確立につとめた。しかし、ほぼ日清戦争にいたるまでの期間は、義務教育の普及と官僚の育成が教育の中心であった。産業教育には手をのばすことができず、内務省勸業寮が駒場農学校を、北海道開拓使庁が札幌農学校を、工務省が製作学教場を、それぞれ設立したごとく、文部省以外の各省が必要に応じて産業教育をおこなうという形をとるにとどまっていた。商業教育もまた、明治十七年に商業学校通則が制定されるまでは、県営または私営によっており、ある場合には貿易商社がその必要に応じて商業学校を開設するという状態であり、明治十四年に農商務省が新設されてからは、文部省よりもむしろ農商務省が商業教育に熱心であった。明治十七・八年ごろから文部省が商業教育にのりだすようになったのは、一つには農商務省との所管争いの

●小樽商科大学新聞

緑丘 全3巻

大正14(25)年6月創刊の『緑丘』は、その年の10月に起った「軍事教練反対事件」により小樽高商を全国的に有名にした。

大正デモクラシーから昭和初期の不況、戦前戦後の学生運動を反映し、一大学新聞としてばかりでなく、全国的な社会的動向を伝える資料である。

昭和55(80)年までを復刻。

体裁

B4判・上製本・函入

総1,200頁

内容

第1巻 大正14年～昭和11年

第2巻 昭和12年～昭和27年

第3巻 昭和28年～昭和55年

各巻平均400頁

附録

『緑丘』記事・執筆者索引

価格

各巻215,000円(本体価格)

全3巻揃価75,000円(本体価格)